

利尻島における鳥類の新分布および稀少種の記録 (3)

小杉和樹¹⁾・田牧和広²⁾・佐藤雅彦³⁾

¹⁾ 〒 097-0401 北海道利尻郡利尻町杵形字富士見町

²⁾ 〒 097-0211 北海道利尻郡利尻富士町鬼脇字清川

³⁾ 〒 097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志字本町 利尻町立博物館

Rare Visits and Newly Recorded Birds from Rishiri Island, Northern Hokkaido (3)

Kazuki KOSUGI¹⁾, Kazuhiro TAMAKI²⁾ and Masahiko SATO³⁾

¹⁾Fujimi-cho, Kutsugata, Rishiri Is., Hokkaido, 097-0401 Japan

²⁾Kiyokawa, Oniwaki, Rishiri Is., Hokkaido, 097-0211 Japan

³⁾Rishiri Town Museum, Senhoshi, Rishiri Is., Hokkaido, 097-0311 Japan

Abstract. The following 10 species were newly recorded from Rishiri Island, northern Hokkaido: *Fregata arielm*, *Gorsachius melanolophus*, *Anas falcata*, *Anas strepera*, *Fulica atra*, *Charadrius placidus*, *Sterna hirundo*, *Ninox scutulata*, *Turdus hortulorum* and *Phylloscopus fuscatus*. *Gavia adamsii* and *Eurystomus orientalis* were the first time to take a picture of them in this island.

筆者らによって2000年から2004年までの間に観察された利尻島未記録種10種と島内での確認が稀な2種について報告する。観察記録は、観察場所、観察年月日、観察者、個体数の順に記し、和名および学名については、日本鳥類目録(日本鳥類目録編集委員会, 2000)に従った。なお、ムジセッカの情報を提供していただいた今野 怜氏(帯広市)に心から感謝を表す。

ハシジロアビ *Gavia adamsii*

利尻富士町鬼脇字清川, 2004.ii.11-12, 田牧和広, 1

11日夕方、清川地区沖合い約50mの海上にいる冬羽の本種を発見した(図1)。周囲は既に薄暗く、観察が困難であったが、本種の特徴である黄白色で上に反った嘴を確認することができた。12日午前中も同じ場所で確認でき、撮影のため近づくが、静かに泳いで沖へ離れていった。両日とも海は穏やか

であった。なお、筆者らの一人である小杉も1989年2月11日に利尻富士町字二ツ石にて海上に浮かぶ1羽を確認しているが(小杉未発表)、この時は撮影ができなかった。

コグンカンドリ *Fregata ariel*

利尻町仙法志字御崎, 2004.ix.9, 小杉和樹・佐藤雅彦, 1♀

午後2時頃、御崎公園駐車場の上空を飛ぶ本種を小杉がを見つけ、佐藤がビデオ撮影を行った(図2)。大きく開いた翼に風を受け、ほとんど羽ばたくことなく、左右に何度もゆっくりと旋回し、しばらくすると南の海上へと飛び去っていった。腹部が白く、なおかつ喉が黒色であるため本種のメスと判断した。観察日の前日は台風18号が北海道北部を通り抜け、最大19m/sの強風が吹き荒れた。この風によって本種が迷入し、利尻島での初記録となったものと思われる。



Figs. 1. *Gavia adamsii*, 2. *Fregata arielm*, 3. *Gorsachius melanolophus* (head and body), 4. *G. melanolophus* (left wing), 5. *Anas falcata*.

ズグロミゾゴイ *Gorsachius melanolophus*

利尻町字富士見町, 2000.vii.15, 小杉和樹, 1
 当日の午後5時過ぎに, 住民から民家横に変わった鳥がいるとの連絡を受け, 現場に行くと右翼が落ちているようなサギ類1羽を確認した(図3). 威嚇はするが, 飛べないようであったため保護した. 翌日まで安静にして様子を見たところミゾゴイ *Gorsachius goesagi* の若鳥と思われたが, 初列風切の先端が白いこと, 小翼羽及び初列雨覆の先端が白いことからズグロミゾゴイと判断した(図

4). 本個体は7月17日, 利尻町森林公園にて放鳥した. 利尻島では, これまで本種の記録はなかった. 本個体の計測値は以下のとおりである. 翼長260mm, 尾長95.4mm, ふしよ67.7mm, 露出嘴峰長42.6mm.

ヨシガモ *Anas falcata*

利尻富士町鬼脇字沼浦, 2003.iv.22-v.5, 田牧和広, 1♀

2002年4月下旬, 利尻島南部の沼浦地区にあ

るオタドリ沼周辺の葦原で採餌する10数羽のヒドリガモ *Anas penelope* に混じり、1羽のヨシガモのメスを確認した(図5)。嘴は黒色で、顔から上頸にかけて灰色味があり、飛翔の際は、白線部に挟まれた緑色の翼鏡が見られた。マガモ *Anas platyrhynchos* のメスとオカヨシガモ *Anas strepera* のメスは体が幾分大きく、嘴がオレンジ色で黒色部があり、ヒドリガモのメスは全体に茶色味が強く、肩羽の模様が異なり、嘴は青灰色で長さも短いことで本種と識別できた。利尻島では、これまで本種の記録はなかった。

オカヨシガモ *Anas strepera*

利尻富士町鴛泊富士岬, 2004.iv.5-6, 田牧和広・小松和恵, 1♂

5日、多数のシノリガモ *Histrionicus histrionicus* やウミアイサ *Mergus serrator* の中に、それらとは異なる種の2羽のカモを見つけた。雨天で観察条件が悪かったが、1羽だけ嘴が黒く、次列風切が白色で、上下尾筒が黒色であることからオカヨシガモと判断した(図6)。利尻島では、これまで本種の記録はなかった。翌6日朝、同じ場所に前日の個体と思われる個体を再度確認し、約30mの距離から撮影をした。オカヨシガモは海岸の岩に上がり、附着している海藻を食べていた。観察は車中から行い、さらに近付こうと車を降ると泳いで遠ざかったが、数十分車中で待機していると元の場所に戻り、黄色の足などの特徴を確認することができた。前日に見た他の1羽はヒドリガモのメスであった。

オオバン *Fulica atra*

利尻富士町鬼脇鬼脇港, 2004.v.26-30, 田牧和広, 1

26日の午後12時頃、繫留されている漁船の間を泳いでいる本個体を観察した(図7)。時折水面に嘴を入れ、岸壁やロープについた海藻を食べていた。同日の夕方には、屋に観察した場所より50mほど離れた磯舟の船揚げ場の波うち際に移動しており、海藻の中から貝類を探して食べているようだった。カモ類のような逆立ち給餌も時折行い、暗くな

ると水から上がり休んでいた。この個体は30日昼まで同じ場所で観察することができた。利尻島では、これまで本種の記録はなかった。

イカルチドリ *Charadrius placidus*

利尻町字栄浜, 2004.iii.20, 小杉和樹, 1

栄浜灯台付近の海岸沿いにある町道脇の芝地で1羽が餌を採っていた(図8)。同属のハジロコチドリ *Charadrius hiaticula* とコチドリ *Charadrius dubius* に似ているが、本種はそれらより体が大きく、嘴の長いことが特徴であることから、イカルチドリと識別できた。観察は、当日の20分程度で、それ以降は観察されなかった。利尻島では、これまで本種の記録はなかった。

アジサシ *Sterna hirundo*

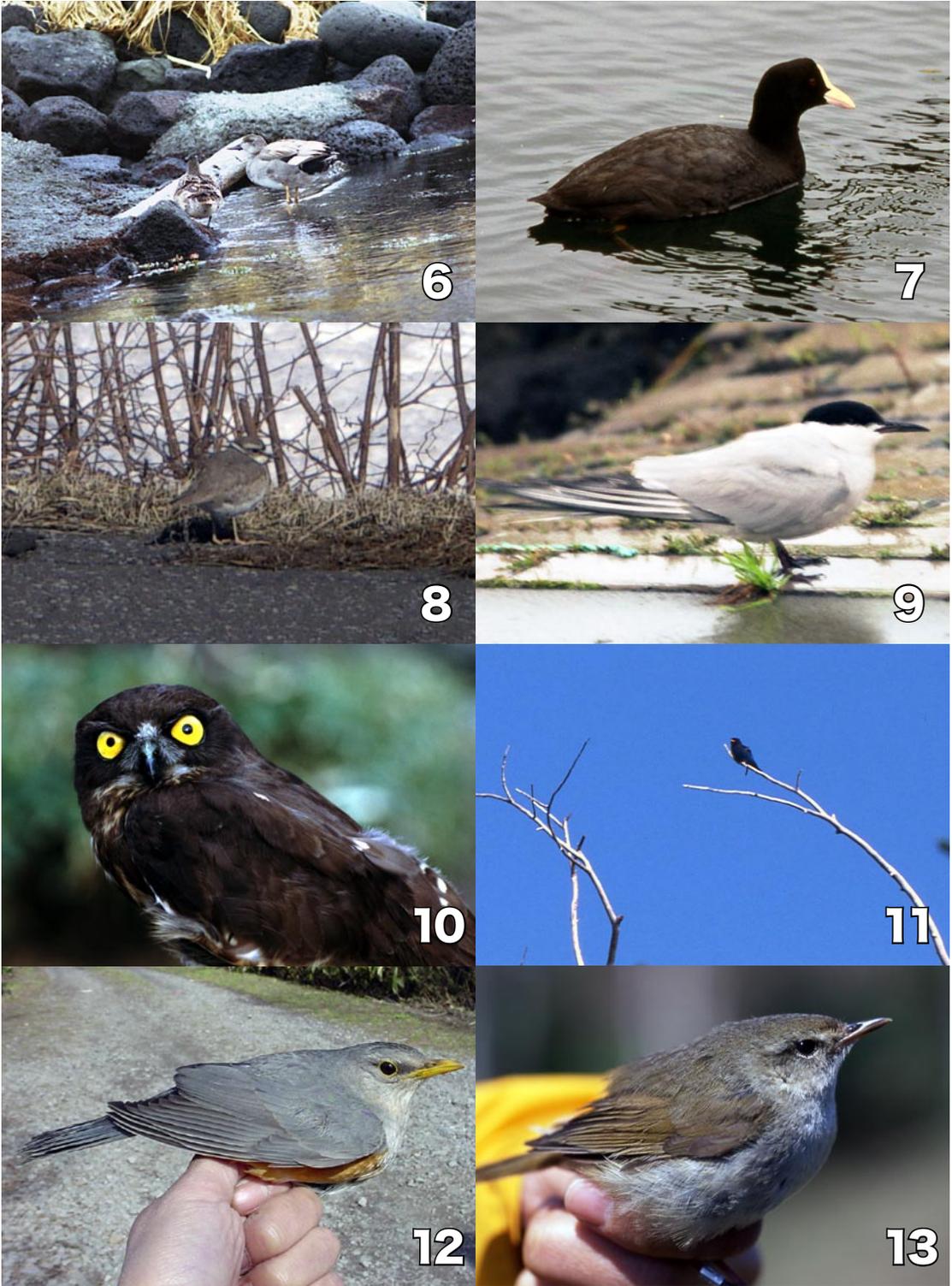
利尻富士町鬼脇, 2004.ix.8, 田牧和広, 2; 利尻富士町鬼脇字清川, 2004.ix.9-10, 田牧和広, 2

8日夕方、台風通過による大雨と強い北西の風を避けるため鬼脇港道路脇と干場で休んでいる30羽くらいのユリカモメ *Larus ridibundus* の中に、12羽前後のアジサシ類を見つけた。夕方まで暗く、しかも雨降りであったが、成長1羽と幼羽1羽のアジサシのみを確認することができた(図9)。翌朝4時に同所に行ったが、それらの群れは確認できなかった。9-10日には、鬼脇清川地区の海岸線約200mの間を何度も飛翔し往復する20羽ほどのユリカモメと5羽のアジサシ類を観察した。その中の2羽は飛翔中の外側尾羽の外弁が黒いことが確認でき、アジサシと判断した。他の個体はクロハラアジサシ *Chlidonias hybridus* であった。海面に時折降下し、水面に浮く藻などをついばんだ後上昇し、この区間を何度も行き来した。利尻島ではこれまでクロハラアジサシ、ハジロクロハラアジサシ *Chlidonias leucoptera*、コアジサシ *Sterna albifrons* の記録はあったが、本種の記録はなかった。

アオバズク *Ninox scutulata*

利尻町字富野, 2002.iv.21, 小杉和樹, 1

本記録は利尻町森林公園内での鳥類標識調査中に捕獲し、標識放鳥したものである。当日19時の点



Figs. 6. *Anas strepera*, 7. *Fulica atra*, 8. *Charadrius placidus*, 9. *Sterna hirundo*, 10. *Ninox scutulata*,
11. *Eurystomus orientalis*, 12. *Turdus hortulorum*, 13. *Phylloscopus fuscatus*.

検で雌雄不明成鳥1羽を捕獲した(図10)。利尻島では、これまで本種の記録はなかった。

ブッポウソウ *Eurystomus orientalis*

利尻富士町鬼脇, 2004.ix.22-23, 田牧和広, 1

2004年9月22日夕方, 鬼脇登山道入り口東側にあるドロヤナギに, 青黒い見慣れない鳥を観察した(図11)。アカゲラ *Dendrocopos major* より少し大きくみえ, 時折飛び立ち, 周辺を飛び回ると, 再びその樹に戻ってくる行動を何度もくりかえしていた。飛び方はツバメ *Hirundo rustica* に似ており, しなやかでキツツキやツグミ類のそれとは異なっていた。それ以後は, 23日8時頃と11時頃にも同じ樹の上に留まっている本個体を観察することができ, 体の色が青緑色で, 嘴が赤色であることから, ブッポウソウと判断した。利尻島では1989年5月17日に利尻富士町オタドリ沼で1羽が沼岸のアカエゾマツにとまっていたところを筆者の一人である小杉が観察しているが(小杉未発表), 島内での観察は非常に稀な鳥とされている。

カラアカハラ *Turdus hortulorum*

利尻町字富野, 2002.iv.20, 小杉和樹, 1; 利尻町字富野, 2003.iv.19, 小杉和樹, 1

いずれの記録も, 利尻町森林公園内での鳥類標識調査中に捕獲し, 標識放鳥したものである。2002年4月20日の記録では, 前日から調査用の網の下を歩く体全体が灰色で, 脇が赤い本種と思われるツグミ類が観察され, 当日網を開いた直後にアカハラ *Turdus chrysolaus* ♀と同時に本種♂2年目若鳥1羽が網にかかった(図12)。利尻島では, これまで

本種の記録はなかった。2003年4月19日の記録は, 午前11時半, ♂成鳥1羽である。

ムジセッカ *Phylloscopus fuscatus*

利尻町字富野, 2001.v.4, 今野怜, 1

本記録も, 利尻町森林公園内での鳥類標識調査中に捕獲し, 標識放鳥したものである。当日午前10時の点検で, 雌雄不明成鳥1羽を捕獲した(図13)。利尻島では, これまで本種の記録はなかった。本個体の計測値は以下のとおりである。翼長58.2mm, 尾長52.2mm, ふしょ長21.9mm, 露出嘴峰長9.6mm。なお, 本個体は標識調査を行っている小杉が不在時に調査協力者の今野怜氏が標識放鳥したものである。

参考文献

- 小杉和樹, 2000. 利尻島における月別鳥類出現リスト. 150-155 pp. 寺沢孝毅(編). 北海道島の野鳥. 北海道新聞社. 札幌.
- 日本鳥類目録編集委員会, 2000. 日本鳥類目録. 改訂第6版. 日本鳥学会, 京都. 345 pp.
- 高野伸二, 1995. フィールドガイド日本の野鳥・増補版. 日本野鳥の会. 343 pp.
- 田牧和広, 2001. 利尻島における鳥類の新分布の記録. 利尻研究, (20): 29-34.
- 田牧和広, 2002. 利尻島における鳥類の新分布および稀少種の記録. 利尻研究, (21): 49-53.
- 田牧和広・杉村直樹・小杉和樹・佐藤雅彦, 2003. 利尻島における鳥類の新分布および稀少種の記録(2). 利尻研究, (22): 23-25.